

東北中学校体育連盟 設立70周年記念大会

令和7年度東北中学校体育大会

第47回東北中学校スケート・アイスホッケー大会要項（案）

アイスホッケー競技

- 1 目的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健康な中学校生徒を育成するとともに、東北の中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 2 主催 東北中学校体育連盟 宮城県アイスホッケー連盟 宮城県教育委員会
大和町教育委員会
- 3 後援 東北地区中学校長会 宮城県中学校長会 青森県教育委員会 岩手県教育委員会
秋田県教育委員会 山形県教育委員会 福島県教育委員会 大和町
（公財）宮城県スポーツ協会 共同通信社仙台支社 河北新報社 仙台放送
NHK仙台放送局 東北放送 ミヤギテレビ tbc 東北放送 khb 東日本放送
- 4 主管 宮城県中学校体育連盟 宮城県アイスホッケー連盟
- 5 会期 令和7年12月20日（土）～12月21日（日）

【競技日程】	12月20日（土）	監督会議	10：00	ベルサンピアみやぎ泉
		開式通告	11：00	〃
		競技（1回戦～準決勝）	12：00	〃
	12月21日（日）	競技（決勝）	9：00	〃
		表彰式	競技終了後	〃
- 6 会場 ベルサンピアみやぎ泉
〒981-3623 宮城県黒川郡大和町小野字前沢 31-1 TEL 022-346-2121
- 7 参加資格 (1) 学校教育法第1条に規定する中学校※に在籍し、各県中学校体育連盟加盟校に在籍する生徒で、競技要項により大会参加資格を得、校長が参加を認めた者。
※本連盟では「中学校」とは中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中学部とする。
(2) 同一年度内の参加者は、全種目を通じて一人1種目とする。
但し、スキー、スケート、アイスホッケー、駅伝については、特例として兼ねることを認める。
(3) チーム編成は学校単位とするが、団体種目において単独チーム編成困難校については、「救済措置」の趣旨から別紙「合同チーム参加細則」に基づき複数校合同チームの参加特例を認める。詳細は別紙「アイスホッケー競技別掲」による。
(4) 過年齢生徒の参加については、体力的、技術的要因が大きく関わると考え、満16歳に達する年度まで出場できるものとする。
(5) 参加資格の特例（各種学校等）
① 学校教育法第134条の各種学校（1条校以外）に在籍し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
② 参加を希望する各種学校は、以下の条件を具備すること。
ア 東北大会の参加を認める条件
（ア）東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
（イ）生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
（ウ）参加を希望する学校は、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。

イ 東北大会に参加した場合に守るべき条件

(ア) 東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

(イ) 東北大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員・部活動指導員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

(ウ) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(6) 参加資格の特例（地域クラブ活動に所属する中学生）

① 地域クラブ活動に所属し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。

② 東北大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。

ア 東北大会の参加を認める条件

(ア) 東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

(イ) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。

(ウ) 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。

(エ) 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出）の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。

(オ) 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは各県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で各県中学校体育連盟に登録していること。

(カ) 各県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。

(キ) 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

イ 東北大会に参加した場合に守るべき条件

(ア) 東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

(イ) 東北大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

(ウ) 東北大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。

(エ) 団体競技（種目）における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。

ウ チーム編成の条件（東北中体連独自の取決め）

団体競技（種目）に参加する際は、同一県内中学校に在籍する選手でチームを編成することとし、県境を越えたチーム編成は認めない。

エ 参加を認めない場合

本大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

※1 この特例は、令和5年4月1日より適用する。

※2 上記特例については、専門部ごとに大会参加に関する細則を加えることができる。

※3 上記特例については今後も検討を続けていく。

8 引率者
及び
監督等

(1) 学校においては、引率責任者及び監督は出場校の校長・教員（非常勤は除く）・部活動指導員とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要綱のもと、以下の条件を満たしていなければならない。また、中学校体育連盟が主催する大会（予選を含む）で登録できる学校は1校のみであること。

① 満20歳以上であること。

② 主催者から要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。

- ③ 次のいずれかに当てはまる者とする。
- ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。
 - イ (公財) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。
 - ウ 自治体(含む教育委員会)、体育(スポーツ)協会、中学校体育連盟のいずれかが主催する研修会を受講している者。

※ここでいう「部活動指導員」は学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。

- (2) 外部・校外コーチは、校長が認めた者とする。ただし、中学校教職員・校長・部活動指導員が他校の外部・校外コーチとしてベンチに入ることには認めない。マネージャーは出場校の教員または生徒とする。

※外部コーチ… 校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。

※校外コーチ… クラブ・道場などの指導に当たっている者。

- (3) その他の団体においては、同一競技内において、中学校体育連盟が主催する大会(予選を含む)で監督、コーチとして登録できるチームは1校(チーム)のみであること。
- (4) 本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・コーチ・トレーナー等は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。また、地域クラブ活動においても指導者に暴力等がないことを代表者が確認して、大会申込書を作成すること。何らかの形で虚偽や暴力等の事実が判明した場合は参加を認めない。
- (5) 学校において、引率・監督について東北大会開催基準や引率細則に当てはまらない状況がある場合には所属県中体連が当該大会実行委員会へ相談すること。

- 9 参加数 (1) 各県2チーム以内(ただし、選抜チームは各県1チーム)。
- (2) チームの監督・コーチ・トレーナー・マネージャーとしてベンチに入ることのできる人数は4名以内とし、選手登録はGKを含む11名以上25名以内とする。試合前にオールメンバー表を提出する際に、ベンチ入りメンバーGK2名以内、プレーヤー20名以内とする。

- 10 競技規則 (1) IIHF 競技規則及び JIHF 競技規則による。その他大会要項による。
- (2) 選手は必ず、ヘルメット、フェイスマスク(Jフック装着済みのもの)、ネックガード(IIHF公認のもの)、マウスピース(透明、白、肌色以外のもの)を着用すること。
- (3) ベンチ入りする生徒は危険防止のため、全員ヘルメット、フェイスマスクを着用すること。
- (4) ゲームの続行が不可能になった場合は、その時点で相手チームの不戦勝とする。

- 11 競技方法 (1) 競技は、参加チームのトーナメント戦により順位を決定する。
- (2) 各ピリオドは正味15分とし、インターバルは10分とする。決勝のみ各ピリオド正味20分とする。
- (3) 第3ピリオド終了時、同スコアの場合は、3分間のインターミッションの後に、5分間のサドンビクトリー方式(3 on 3)による延長戦を行う。それでも決しない場合は、直ちに3名による PSS(ペナルティーショットシュートアウト)により、勝敗を決する。それでも決しない場合は、引き続き両チームに1名ずつのサドンビクトリー方式による PSS(ペナルティーショットシュートアウト)によって勝敗を決する。

- 12 組合せ 主催団体の責任抽選とし、本大会主管団体が行う。2チーム出場している県については、2チームを別のブロックに入れる。また、前年度優勝、準優勝のチームもしくは当該県の代表チームを第2シードまでとし、残りをフリー抽選とする。

- 13 表彰 優勝チームには優勝カップを授与する。2位まで賞状を授与する。

- 14 参加料 (1) 参加生徒一人につき 2,000 円とする。
(2) 参加申込み後の出場辞退や欠場の場合における参加料の返金を行わない。
(3) 参加料の納入については、令和 7 年 12 月 4 日（木）までに、宿泊・弁当の振込と同時に指定業者の口座に振り込むこと。なお、振込手数料は参加チームが負担すること。

※変更点	【振込先】	銀行名	三菱UFJ銀行	支店名	新東京支店
		口座種別	普通口座	口座番号	3318233
		口座番号	名鉄観光サービス株式会社		

- 15 参加申込 【申込締切】 令和 7 年 12 月 4 日（木）正午 必着
申込用紙は、宮城県中体連 HP よりダウンロードし、所定の用紙に必要事項を記入の上、各県中体連スケート専門部を通して、下記参加申し込み先にデータで送信すること。
※校長（代表責任者）の記名押印した原本を PDF 化し（ただし、フルカラー、300dpi 以上に限る）、データで下記アドレスに送信すること。
※E-mail の参加申込にはプログラム掲載用のユニフォーム着用の選手集合写真をデータで添付すること。

【申込先】	宮城県中学校体育連盟 スケート専門部 委員長 石倉 広尚 E-mail : ts010172@g.sendai-c.ed.jp
-------	--

- 16 諸会議 監督会議 12 月 20 日（土）10 時 00 分 場所：ベルサンピアみやぎ泉 会議室

- 17 宿泊 宿泊要項は別紙とする。大会出場者（引率者・監督・コーチ・選手・トレーナー・マネージャー）の宿泊については、必ず宿泊要項にある指定業者を通して申し込むこと。

- 18 その他 (1) 本大会は全国大会の予選を兼ねる（全国大会出場は上位 5 チーム）。
(2) 単独・合同チームが 5 チームに満たない場合は、残りの出場枠はトーナメント戦の上位チームとする。ただし、同順位の場合は閉会式終了後に代表決定戦を行い決定する。
(3) （公財）日本中体連アイスホッケー競技細則により、全国大会に出場できる地域クラブ活動のチームは、各都道府県 1 チームまでとする。これにより、本大会で同一県の地域クラブ活動のチームが 5 位以内に複数入賞した場合、代表決定戦を行い、決定する。
(4) 3 位決定戦は行わない。
(5) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。学校においては、独立行政法人日本スポーツ振興センターの定めを適用し、地域クラブ活動においては、当該クラブ代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。なお、大会参加者は、健康保険証（マイナンバーカード等）を持参することが望ましい。
(6) 申込みに使用する漢字は原則として常用漢字・人名用漢字とし、プログラム掲載も同様とする。ただし、それ以外の漢字の使用を特に希望する場合は実行委員会へ相談すること。
(7) 東北中学校体育連盟では申込書に記載する、選手氏名・学校（チーム）名・学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表するとともに、大会結果集約に利用する。また、成績については報道発表並びにホームページに掲載する。申込書に記載する情報の利用について同意が得られない等、事情がある場合は各県中学校体育連盟を通して東北中学校体育連盟及び開催県実行委員会と連絡をとり、適切に対処する。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとする。
(8) 観戦者における競技会場内、または応援席や駐車場等、会場周辺の事故、破損等については、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。
※「会場周辺の事故」には、競技中のボール等の用具が車や人に直撃した場合や、風や

雪、雷等、天候の影響で起こった場合も含む。

- (9) 自然災害や感染症等により、大会が実施されなかった際の全国大会出場チームの決定方法については、別に定める。
- (10) 自然災害等により、緊急的な対応が想定される場合の連絡手段は「宮城県中学校体育連盟緊急連絡用 HP」を用いて行う。

19 連絡先 大会全般に関する問い合わせ

〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野字高橋前 65 番地 仙台市立中野中学校 石倉 広尚（県スケート専門部委員長） TEL：022-259-2020 FAX：022-259-2593 E-mail：ts010172@g.sendai-c.ed.jp
